

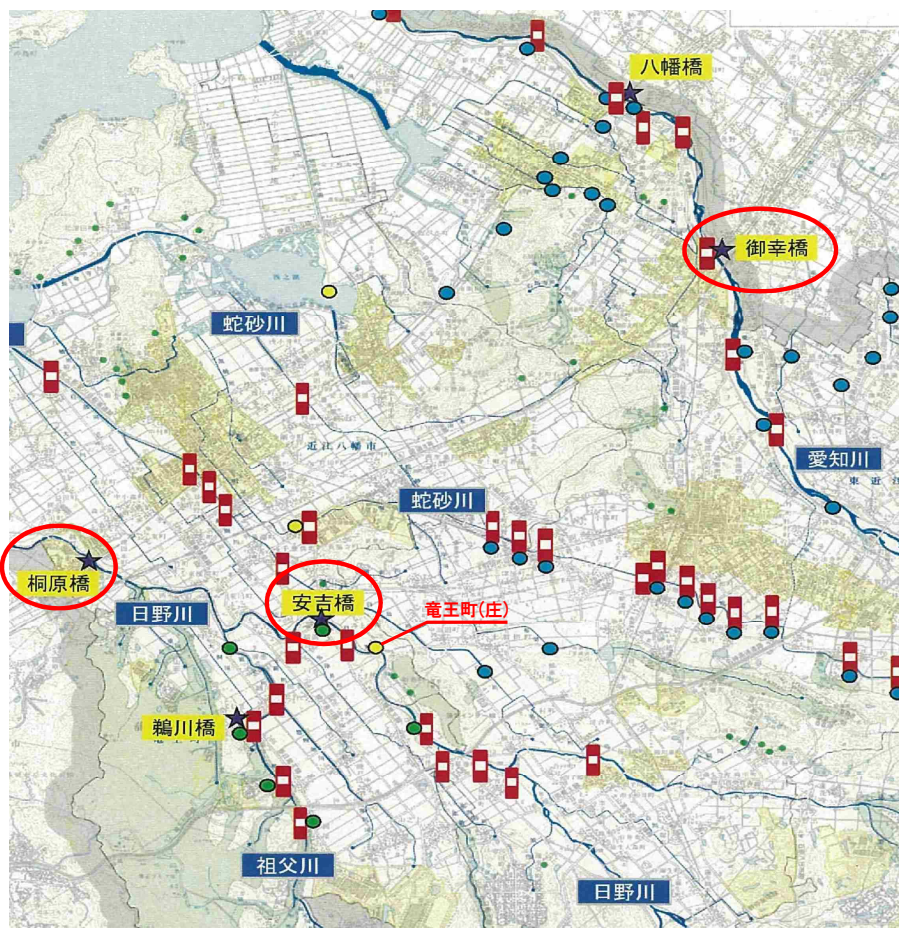
## ■水位周知用看板のデザイン変更

【変更目的】「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン（案）」の改訂（H26.4）に伴い、洪水予報河川および水位周知河川の氾濫危険水位、避難判断水位が見直されたことから、水位局に設置している水位周知用看板のデザインを変更した。

※東近江圏域では日野川が洪水予報河川、愛知川が水位周知河川となっている。

### 周知用看板位置図

【デザイン変更対象】 愛知川：御幸橋  
日野川：安吉橋、桐原橋、竜王町(庄)



## 看板デザインの変更

### 安吉橋(日野川)水位観測所

安吉橋の水位の状況は、下記の方法で確認することができます。  
※洪水時には危険ですので自宅や避難所で水位を確認して下さい。

- 滋賀県河川防災カメラ(ライブカメラ)  
左のQRコードまたは携帯電話・パソコンから「滋賀県河川防災カメラ」で検索
- 滋賀県土木防災情報システム(SISPAD)  
左のQRコードまたは携帯電話・パソコンから「SISPAD」で検索
- テレビ(NHKデータ放送：河川水位情報)  
NHK放送で「dボタン」→「安全安心ポータル」→河川水位・雨量情報

日野川の安吉橋水位の状態に応じて避難判断の目安となる洪水情報を発表します。

氾濫危険水位 (4.10m)	避難勧告の発令の目安となる水位
避難判断水位 (3.40m)	避難準備情報の発令の目安となる水位
氾濫注意水位 (2.70m)	水防団(消防団)の出動の目安となる水位
水防団待機水位 (1.80m)	水防団(消防団)の活動準備の目安となる水位

計画高水位 6.00m

「しらしがメール」  
滋賀県では、防災・防犯等の身の回りの危険に関する情報を、ご希望の方へ「しらしがメール」で配信しています。左のQRコードまたは、<http://www.pref.shiga-info.jp>より登録手続きを行って下さい。

お問い合わせ先  
滋賀県 東近江土木事務所：0748-22-7737

### 変更箇所

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 氾濫危険水位、避難判断水位等の水位と解説文を更新した。</li> <li>● 水位の変更に併せ、量水標の横断面図も更新した。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水位の変更に併せ、再塗装された量水標の写真に更新した。</li> </ul>

変更後

## 安吉橋(日野川)水位観測所

安吉橋の水位の状況は、下記の方法で確認することができます。  
※洪水時には危険ですので自宅や避難所で水位を確認して下さい。

- 滋賀県河川防災カメラ(ライブカメラ)  
左のQRコードまたは携帯電話・パソコンから「滋賀県河川防災カメラ」で検索
- 滋賀県土木防災情報システム(SISPAD)  
左のQRコードまたは携帯電話・パソコンから「SISPAD」で検索
- テレビ(NHKデータ放送：河川水位情報)  
NHK放送で「dボタン」→「安全安心ポータル」→河川水位・雨量情報

日野川の安吉橋水位の状態に応じて避難判断の目安となる洪水情報を発表します。

氾濫危険水位 (4.10m)	避難勧告の発令の目安となる水位
避難判断水位 (3.40m)	避難準備情報の発令の目安となる水位
氾濫注意水位 (2.70m)	水防団(消防団)の出動の目安となる水位
水防団待機水位 (1.80m)	水防団(消防団)の活動準備の目安となる水位

計画高水位 6.00m

「しらしがメール」  
滋賀県では、防災・防犯等の身の回りの危険に関する情報を、ご希望の方へ「しらしがメール」で配信しています。左のQRコードまたは、<http://www.pref.shiga-info.jp>より登録手続きを行って下さい。

お問い合わせ先  
滋賀県 東近江土木事務所：0748-22-7737

## 2-4. 各市町での取り組み／近江八幡市

項目	内容	項目	内容
①防災訓練	H27/8/29 防災総合訓練、H28/8/28 防災総合訓練	④出前講座	H27年度11団体、H28年度10団体で出前講座を実施
②防災リーダー育成	地域防災活動推進員研修 H27年度3回、H28年度2回	⑤自主防災組織育成	自治会に補助金を交付
③防災資機材等備蓄	アルファ米、保存飲料水、毛布の購入	⑥子ども防災塾	H27年度島小学校、H28年度老蘇小学校

### 平成27・28年度の取組

#### 【①防災総合訓練】

・災害発生時に迅速かつ的確な応急対策活動ができるよう防災関係機関・関係団体及び地域住民との協力体制の確立と市民の防災意識の高揚を図る。

⇒H27/8/29、H28/8/28に防災総合訓練を実施



防災総合訓練の様子

#### 【②防災リーダー育成】

・市民主体の防災まちづくり活動を進め、地域防災力の強化を図る。

⇒H27年度 講演、普通救命講習、災害図上訓練

H28年度 講演、普通救命講習

#### 【③防災資機材等備蓄品購入】

・災害時、被災者の食料品、生活必需品等の物資を備蓄計画に基づき整備する。

⇒H27年度 アルファ米1750食、飲料水720本(1.5L)

毛布 190枚

H28年度 飲料水558本(2L)、毛布310枚



普通救命講習の様子

#### 【④出前講座】

・防災に関する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域防災力の向上をめざす。

⇒H27年度 11団体、H28年度10団体で実施。自主防災組織の設立や避難誘導マニュアル作成に向けての説明を行う。

#### 【⑤自主防災組織育成補助】

・地域住民による自主防災組織の育成および防災意識の高揚を図るため、自治会等の災害時応急資機材購入、防火訓練実施にかかる費用の一部を補助。

⇒自治会に補助金交付

H27年度 資機材整備 41自治会

防火訓練 42自治会

H28年度 資機材整備 47自治会

防火訓練 48自治会



災害図上訓練の様子

#### 【⑥子ども防災塾】

・災害時に子どもたちが自分で考え、行動できるように防災意識の形成を図る。

⇒避難所体験、非常食体験、滋賀県出前講座体験、煙体験、起震車体験、水消火器体験を実施



子ども防災塾の様子



### 平成29年度の重点項目

#### 【①自主防災組織の組織率】

・自主防災組織の組織率の向上

⇒現在約83%の組織率を90%に向上

#### 【②防災リーダー育成】

・地域防災力の強化を推進

⇒年間2～3回程度の研修会を開催

#### 【③出前講座】

・地域防災力の強化を推進

⇒自主防災組織未設置自治会や要請があった自治会で実施

## 2-4. 各市町での取り組み／東近江市

項目	内容	項目	内容
①防災訓練	8/28 総合防災訓練	④防災出前講座	55団体 2,550名に講座を実施
②防災講演会	11/13 防災・減災のつどい	⑤自主防災組織育成	67自治会に補助金を交付
③防災講座	防災リーダー養成講座 (8/7~1/15 全7回)	⑥職員災害図上訓練	2/17 職員災害図上訓練

### 平成28年度の取組

#### 【①東近江市総合防災訓練】

災害時に迅速かつ的確に対応できる体制の確立と、市民の防災意識の高揚を図ることを目的に実施

日時 平成28年8月28日

場所 五個荘中学校

参加者 約1,500名



総合防災訓練（水防訓練）

#### 【②東近江市防災・減災のつどい】

防災・減災に対する正しい知識を身につけ、地域防災力の向上を図り、災害時の被害を最小限に抑えることを目的に実施

日時 平成28年11月13日

場所 五個荘コミュニティセンター

講師 野島断層保存館 副館長 米山 正幸 氏

演題 野島断層からのメッセージ

参加者 180名



総合防災訓練（落石除去訓練）

#### 【③東近江市防災リーダー養成講座】

知識経験が豊富なシニア世代を中心に、地域の防災リーダーを担っていただくことを目的に7回の連続講座を実施

受講者 17名

講座内容

(1) 防災基礎研修

防災気象情報、想定される災害、クロスロードゲーム

(2) 東近江市総合防災訓練

(3) 放射線基礎講座

(4) 視察研修（神戸市 人と防災未来センター）

(5) 東近江市防災・減災のつどい

(6) HUG（避難所運営ゲーム）講座

(7) DIG（災害図上訓練）講座



防災・減災のつどい

#### 【④防災出前講座】

依頼のあった自治会や各種団体で出前講座を実施。内容は、東近江市で想定される災害、自主防災組織の必要性、図上訓練、自主防災組織設立支援など

団体数 55団体



防災リーダー養成講座

#### 【⑤自主防災組織育成】

自治会及び自主防災組織に各種補助金を交付

(1) 安全なまちづくり自主活動補助（上限3万円 1/2補助）6団体

(2) 自主防災活動補助（上限5万円 1/2補助）40団体

(3) 防災用資機材購入補助（上限15万円 1/2補助）4団体

(4) 可搬式消防ポンプ購入補助（上限100万円 2/3補助）9団体

(5) 防災かまどベンチづくり事業補助（上限15万円 10/10補助）8団体

#### 【⑥市職員災害図上訓練】

大地震発生時における災害対策本部の意思決定能力及び情報処理能力の向上を図ることを目的に実施。

日時 平成29年2月17日

場所 東近江市役所本庁舎新館 危機管理センター

参加人数 70名

訓練方式 状況付与票を使用した災害対応訓練



### 平成29年度の重点項目

#### 【①同報系防災行政無線整備】

防災情報告知放送システムを整備し、各戸に告知端末を配布

#### 【②地域防災力の向上と減災対策の推進】

(1) 東近江市総合防災訓練、職員災害図上訓練

(2) 東近江市防災・減災のつどい

(3) 東近江市防災力UP講座

(4) 防災出前講座

(5) 自主防災組織育成

#### 【③災害用備蓄品の購入】

(1) 災害救助用毛布

(2) アルファ化米、粉ミルク等食料

(3) 携帯トイレ、紙おむつ等トイレ関連物資

## 2-4. 各市町での取り組み／日野町

項目	内容	項目	内容
①日野町総合防災訓練	住民、町職員、消防団、防災士等が参加し災害発生を想定した訓練を行う。	④防災通学合宿	地域と連携し、小学生を対象とした防災の合宿を行う。
②防災士の育成・防災出前講座	防災士連絡会を立ち上げ、防災士を中心に地域からの防災力向上を目指す。防災学習の実施。	⑤防災センターの竣工	防災センターを設置し備蓄倉庫や水防倉庫として活用する。
③防災関係補助金の活用促進	地域の防災力向上のため、防災備品の購入や避難訓練に対し補助を行う。	⑥風水害時のタイムライン・避難勧告等の発令基準の策定	風水害のタイムラインを策定し、班ごとの役割を認識しながら対応にあたる。雨量等による、避難勧告等の発令基準を定め運用する。

### 28年度の取組

#### 【①日野町総合防災訓練】

・災害時における職員の初動対応や、住民の避難訓練、また消防団や消防署、防災士等も参加し、発災時の対応について訓練を実施。また応援協定締結した企業関係機関相互の協力連携の確認を行う。

⇒9/4に総合防災訓練を実施（約400名が参加）



総合防災訓練の様子

#### 【②防災士の育成・防災出前講座】

・平成28年度から「日野町防災士連絡会」を設置。出前講座や防災訓練等に参加し地域の防災力向上を目指す。  
・地域の状況や特性に応じた防災についての講演を実施。その後、防災士によるHUG（避難所運営ゲーム）やDIG、クロスロード等により、自助・共助等の防災についての理解を深める。

⇒現在9名の防災士が活躍。平成28年度実績（27団体）



出前講座の様子

#### 【③防災関係補助金の活用促進】

・地域の防災力向上を目的とし、自主防災組織の設立や避難訓練、防災に係る物品の購入等に対し補助を行う。

⇒12の自治会・自主防災組織が活用。発電機やチェーンソー等の購入や、避難訓練に対し補助を行った。

#### 【④防災通学合宿】

・小学生を対象とし、2泊3日の防災学習を公民館と連携して実施し、子どもの頃から防災への意識付けを図る。

⇒ライフラインが止まったと想定し、保護者、近隣住民を巻き込みながら、地域全体で取り組みを実施。

平成28年度実績（南比都佐、東桜谷、西桜谷）



地域避難訓練の様子

#### 【⑤防災センターの竣工】

・防災基盤向上のため、災害対策室や備蓄倉庫を整備。

⇒食料等については最大避難者数を想定し備蓄。

#### 【⑥風水害時のタイムライン・避難勧告等の発令基準に基づく対応】

・風水害時の班ごとの動きが混乱しないようタイムラインを作成している。また、避難勧告発令に際しての基準を設け、確実に発令ができる体制としている。  
⇒累加雨量や時間雨量で、各班がどのような動きをするか、いつ災害対策本部を立ち上げるかなどを策定している。また、雨量や河川水位等総合的に判断した上で、避難勧告等を発令する体制を構築し運用している。

### 平成29年度の重点項目

#### 【①自主防災組織の設置の促進】

・平成28年度に設置した「防災士連絡会」と連携しながら、地域の自主防災組織の設置を促進し、地域からの防災力向上を図る。

⇒出前講座で、町から意識啓発を行い、防災士からは住民の立場からアプローチを行うことで、自主防災組織の設置数の向上を図る。

#### 【②通学合宿・地域防災訓練】

・南比都佐、東西桜谷地域と連携し、小学生の段階から防災について体験学習を行う。また、南比都佐地域では、地域独自の防災訓練を町と連携して実施し、地域からの防災力強化に努める。

⇒地域防災訓練では、地域住民が主体となり訓練を実施。消防署や消防団等も参加し、救出訓練や消火活動、炊き出し訓練を行うこととなっている。

#### 【③防災士連絡会による地域防災力の向上】

・防災士による地域防災力の向上。

⇒各地域の防災力強化を図るため、防災士から区長に対し、出前講座や避難訓練の実施を呼びかけ、地域から防災力を向上するよう働きかけを行う。

#### 【④避難勧告等の発令基準の検討】

・平成29年度から導入される表面雨量指数等の新基準に対応できるよう研究を進めていく。

⇒雨量との表面雨量指数の関連性を研究し、既存のタイムラインの修正を行い、確実な避難勧告等の発令を行えるよう研究をする。

## 2-4. 各市町での取り組み／竜王町

項目	内容	項目	内容
①防災訓練	9/4 総合防災訓練 (H28)	④自主防災組織育成	自治会に補助金を交付
②資機材・備蓄品整備	資機材整備・備蓄品購入	⑤祖父川水防対策	祖父川上流の湖南省に簡易雨量計を設置
③防災出前講座・訓練指導	自治会等への出前講座・訓練指導		

### 27年度～28年度の取組

#### 【①総合防災訓練】

・関係機関および地域住民参加のもと互いに連携を図り、総合的に充実した訓練を実施し、地域住民の防災意識の高揚を図る。

⇒9/4に総合防災訓練を実施(H28)

#### 【②資機材整備、備蓄品購入】

・発災初期における円滑な避難所運営や災害現場での応急対応が図れるよう、資機材・備蓄品を整備する。

⇒ボート、毛布、暖房機、食料品等の購入

#### 【③防災出前講座・訓練指導】

・地域の状況や特性に応じた内容で、防災出前講座や訓練指導を実施し、自助・共助・公助の協働による災害時応急体制の確立により地域防災力の強化を図る。

⇒対象：自治会、企業、団体

#### 【④自主防災組織育成補助】

・地域住民による自主防災組織の育成および防災意識の高揚を図るため、自治会の災害時応急資機材購入、防災啓発、防災訓練実施にかかる費用の一部を補助。

⇒竜王町自ら考え自ら行うまちづくり事業助成金



総合防災訓練の様子



水防備蓄倉庫

#### 【⑤祖父川水防対策】

・竜王町の南北に流れる祖父川について、東近江土木事務所(河川管理者)と共同で上流の湖南省に簡易雨量計を設置し、雨量と水位の相関関係を分析し、水防対策に役立てる。

⇒湖南省市民学習交流センターの屋上に設置



簡易雨量計



### 平成29年度以降の取り組み

#### 【①地域防災情報システム整備】

・災害時における緊急情報伝達手段の構築

⇒住民へきめ細やかに情報伝達できるようなシステム整備の構築

#### 【②資機材整備、備蓄品購入】

・資機材・備蓄品の計画的な整備

⇒備蓄食料品については、3箇年計画で整備

#### 【③地域防災計画の見直し】

・地域防災力の強化に向けた見直し

⇒BCPの策定